

現新が一騎打ち

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686
下野新聞社
電話 028-625-1111
郵便振替口座 00180-1-623433
©下野新聞社2016

読者室 028-625-1179
(受付 月～金・午前10時～午後6時)
編集局 028-625-1121
販売 028-625-1120(販売)
事業局 028-625-1134(事業・教育)
営業局 028-625-1133(広告)

PC・スマホ・携帯でも
下野新聞 検索

下野新聞社ホームページ
http://www.shimotsuke.co.jp/

電子号外

下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル
0120-810081

携帯で、スマホで栃木のニュースを!!
下野新聞
SOON
月額
250円+税
下野新聞 検索

(右から届け出順)



佐藤栄一(さとうえいいち)氏 55歳 無現
宇都宮市長。3期目。元全国市長会副会長。
元日本青年会議所副会頭。明治大法学部卒。
同市江曾島町。



金子達(かねことおる)氏 58歳 無新
耳鼻咽喉科医院院長。昭和大病院兼任講
師。同大大学院医学研究科修了。宇都宮市東
宝木町。

宇都宮市長選告示 LRTなど争点

20日投開票

任期満了に伴う宇都宮市長選は13日告示され、無所属で新人の医師金子達(かねことおる)氏(58)と、民進、共産、社民推薦と、4選を目指す無所属現職の佐藤栄一(さとうえいいち)氏(55)と自民、公明推薦が立候補した。両氏は同日内での第一声を放ち、7日間の選挙戦に突入した。投票日は知事選と同じ20日。

次世代型路面電車(LRT)事業の中止を訴える金子氏に対し、3期12年の実績と持続可能なまちづくりの必要性を強調する佐藤氏。政策、スタンスの違いが鮮明になった。

金子氏は同市宮園町の東武宇都宮駅北口で出陣式を行った。民進党県連の福田昭夫(ふくだあきお)代表やLRT反対で連携する党派の県議・市議、市民団体関係者らが参集した。

金子氏は市が導入を進めるLRT事業について「中

止」を断言。「駅東側の整備だけで458億円がかかる」などとした上で「バスやタクシー、デマンド交通など地域に合わせた交通システムをつくっていきたい」と訴えた。

佐藤氏は同市陽西町の護国神社前で出陣式を行った。知事選に立候補している福田富一(ふくだとみかず)氏や自民党国会議員、

自民公明両党の県議、市議らが顔をそろえた。第一声で佐藤氏は教育や子育て環境の充実、安全安心のまちづくりなどに取り組んできたことを強調。「健康寿命を延ばし寝たきりになくすことで、若い人にも支えやすい社会をつくる」と述べ、外出を支えるLRT整備の必要性、選ばれる宇都宮づくりを訴えた。

期日前投票の活用呼び掛け

宇都宮で啓発イベント



20日投開票の知事選の啓発イベントを開いた。写真。トークショー「若者と選挙について考えてみよう!」ではアイドルグループ「乃木坂46」元メンバーの永島聖羅(ながしませいら)さんが「投票する気持ちはあるが、仕事などで投票に行けない」と悩みを吐露。宇都宮大地域デザイン科学部の三田妃路佳(みたひろか)准教授は「投票に行くことで、(候補者に)若い人のことを考えてもらえるようにするのも重要」と期日前投票などの活用を呼び掛けた。